



九

リ 5
6039
9

95
6039
卷 9

肥前

太

同記卷、年十八

行手記

肥田酒造



松山助助

竹中宣焉陽助

毛受助

中条小一郎

日根豊兄弟

恩田助左衛門

浦曾義之助

古田大膳太史

猪尾常刀光之助

板倉伊勢之助

大同己亥

昭和十六年
六月重故
八田吉代
長良宣太郎
大富贈

大岡記卷之十八

○織田酒造丞



東御には織田酒造丞と云ふ。尾列下那人也仁
義之勇あくまでも眞面目志篤一列小豆
坂七本達の主一人ゆて進退しトおびへや
左均自御うちりしとウ。常々子を或親族或
朋友よろにあつて諫られ一幸。子者。士志
樹あり。格かよ劣もあハ人地人也といれ。座すり
思ひづれ云うるゝ人皆耻つてまじく。南ハ綿
上に羅とあひて御にすとまき。格かくま

よ溺る。荀子はいのそ思ひしにまも。あらゆる
もの心廣く狹き處とぞせよ。人ハ種をキ
なりと幹。木子を枝。葉り。らむ。す。
主と枝。くよ沙汰。一至ぬ。物夕顔を思てく
り。あさく。一矢。十矢。一矢。剛と立。殺功
く譽と歎す。歎。一矢。つと。殺と挑。あく。向
塚。よをと。畜。と勤。うれ。一矢。し。歎。越
度。出来。あは。酒造。亟。表。よ。立て。歎。い。事
有。よ。と云。き。と。事。偏。よ。耻辱。な。う。と。
也。軍中。毫。や。よ。の。城。賊。よ。來。と。か。す。

用。よ。せ。と。或。他。と。乘。畜。他。の。き。事。と。よ。ん。と。も。外。か
く。歩。士。と。お。屋。並。軍。と。己。獨。乃。ち。少。少。や。う。
劣。や。う。う。う。先。と。り。く。勇。士。と。云。一。也。立。初
往。ち。な。行。き。仰。う。う。方。往。の。事。よ。も。矯。と
唯。尋。め。人。乃。倒。一。有。一。又。立。き。事。に
も。あ。て。い。内。く。あ。く。一。も。有。一。と。也。寧。人
と。能。あ。て。い。内。く。あ。く。一。と。も。す。く。ひ。立。ま。君。の。あ
よ。よ。な。人。と。ハ。ち。て。寵。一。す。の。り。一。く。有
て。わ。そ。の。う。黨。か。貪。窮。と。恤。一。く。も。富
け。お。夕。空。へ。め。り。く。よ。は。一。汁。一。束。の。振

也。もてちとむけよ大角。」^{カク} ウ。波久の
妻、吉川の妻。勤めをきこむと
一入る事あら。勤めをきこむと
久や。因てひ人をなすかは取ましゆえと曰
心。病なまうる。

杞山新眺

重線年中よき山野助と年
ちひく歎牙之臣よ被写者向ひも初め本草
寺よ番士とつゝめ居たり。ま、まゆ

やま。毎物もあわやうに弟乃裁判ともちき
くく。小鼓入八早秋よ。鼓一。酒と毫
して興有者たるよ。まは泉州隈く。傳
ひ。二好かひ威方く。勇士威。まゆに
もあて羽根をちかひ新助と峰あ
はせとまん。まに戰勝よ。毛利力ちり。室
主を敵そよ。世よ。生く。也と約せんや。唯
來めねひ。或きんと云ひ。歎味方博乃爾か
よ。寄酒すと。一興もあはづ。山に
といじたぎり。之の次く

よ戦場の物語りとゆんで坐一かり年二
十五六には武者修りてとんと思ふ心地で
お茶。二好ひへまよが移別有馬山田
山田。いきと云々。僕金錢よ。追付前一討捕
毛馬と。僕也と。僕と。延税く達者を至らむ
あつと。と。言。と。は。そ。後。ハ。千石余。也。と。か
う。に。聞。く。名士と。衣の傍輩の。居。よ。窮
あ。一。二。三。修。人。と。報。と。を。延。せ。一。也。さ。中。し。
本。向。よ。も。ひ。く。隠。れ。き。さ。か。と。且。就。す。よ。那
兵太主。林又。三。尾。桂林と。謂。中村。野。三。尾。桂中村、
中村。

林九郎。西林と。房。戒。合。又。走。罪
若。基。八。郎。井。中。壁。助。市。田。若。目。公。小。河。新。石。房。つ。
林。深。を。良。森。原。久。井。助。や。と。そ。一。人。當。千。九
い。も。れ。一。ア。キ。と。ア。高。兵。千。數。五。炮。一。至。腰。右
く。身。手。毛。毛。や。一。あ。お。腰。事。恰。骨。筋。く
わ。教。す。め。一。凡。新。夕。志。乃。経。と。老。人。便。一。は
自。他。た。よ。戰。功。あ。ん。事。と。西。入。貢。士。よ
取。親。一。深。る。も。也

中条小一郎

永和へ初めひのひ我功を重累せり。うふま
事へうち子十二三歳へは眞^{マサニ}と毛^{モウ}せけりし
やうよれ入^リてゆき。以下^{シモ}トガ方^{カタ}田^{ミタ}畠^{ハタケ}田^{ミタ}助^{タク}
唐^{カタ}射^{ミテ}仰^{メテ}宣^ム。かしと功^ムとゆつ
り。十人よ一人あ^リてハこそ需^ム。魚^{ウオ}ヤモロ^ム
十六衆^ム。妻^メを重病^{シキ}なり。刀^{タケ}を刀^{タケ}り。膝^{イダ}乃^ハに
とま^リれ。切り歩^キと不^可。鐵^{タケ}田^{ミタ}強^{ヒサシ}ノ所^ニ
聊^ハ一^ハ五^ハ重^シ。海津^{ミツ}令^ス威^ス。實^ス幼^シ壯^シとつま

○竹中 宋元房尉

竹中は清別^{きよべつ}其^そ櫻^{さくら}城^{じゆう}よりして、あはれ候矣
ちう賛也。坂上^{さかのう}夏^{なつ}氣^きは度^す暑^{いざる}人^{ひと}子^こ帶^{おび}る。
行^ゆ事^{こと}より平^{ひら}人^{ひと}に乃^{おの}て言^{こと}ひも多^{多く}あ。眼^{まなこ}
さと^{とも}一^{ひと}塵^{ほり}有^あ。度^{りゆく}量^{りょう}ハ紅海^{こうかい}よぎるを。の^のめ
かづら^{かづら}下^{くだ}り。曉^{あけ}る事^{こと}や、こう年^{とし}一^{ひと}度^ど。
ありすま^まく。持^もてそぞろ下^{くだ}り。あくわ^{あくわ}く。
あくわ^{あくわ}くともいよいよあくわ^{あくわ}く。偶^{たま}々^{たま}へい程^{ほど}すあくわ^{あくわ}く。
小^こ信^{しん}ふと不^ふ屈^く小^こ利^りふと漏^もれ^もぬ^ぬ。あ
の縫^{ぬい}急^{いそ}も理^りよ遠^{とお}く事^{こと}や。難^{むず}出^でく地^じ怪^{あが}二^に計^{けい}の比^ひより。渺^{みやう}く凡^{ふん}く初^{はじ}也。戰場^{せんじょう}生^う

立は鷹の角の馬よ。虎拂あとと云刀元と常
乃ぬくに。興足い風皮のうと表。の刃
ぬふ縫。そあんとめらうと。わこ美乃
太錦多にくやく立。軍ハ一員代立あすと
もと首よき。解の付てもあまえくよ
綿。肩眼とちとすらも。極くゆくとす
り。完よ雷電石よ薦き。不動
塵。塵ちよ起きた。目不瞬。神乃まか體み
て。並軍とその仕と。勇道くエヌ。外ハ
難。未とひね。一。海もあゆつ。不精

自らとはセアなり。世人騒。發よ車。財の軍
中。心とが。心と安んじ。世人は。本房。ハ。危
大。國。よ。の。國。守。し。長。子。と。あ。一。代。く。よ。か
キ。や。よ。云。一。竹。中。手。を。脇。く。ろ。よ。腹。立。
勝。國。ま。そ。も。耳。自。と。あ。る。と。彼。の。事。と。も。く。ぞ
せんと。瀕。り。鷹。乗。ゆ。く。塔。と。己。一。丸。く。手。柄。と。お
う。さ。ア。ん。と。ざ。び。一。先。人。質。よ。か。一。五。一
舍。永。久。他。と。ね。病。多。苦。と。問。病。一。者。病。の
す。あ。と。ま。つ。勇。士。ま。七。人。山。上。を。至。一。た。う。り。
か。く。て。三。月。十。日。唯。一。人。完。城。一。有。因。を

天官書一

七

甲

方へ廣ひよ入る。かくも能はず。畜駄と
一鹿と並居たり。と上意して云ひや
め。まさらよせられ。とゆりもや
接合せ難い。なま弱き形ほどと切伏向番
きとみた人なり。伏へたり。鷹與二ハロだ
き次第と息まで。ゆくと切伏せ
ありましと長井新八郎。新あらわす
しより。御反竹中入。ま伏ていかゞ
候。其の外防と見才切く御行
中正堂先生。かた人四入。一者と同

今や敵よ殺して見才忠死ももりけむ。
豈れ國の波瀬乃庄へきつゝ上陸す。是
お國も勢を失伊勢も再び本多勝、も勢二千
條人嘆と山上。一。近興へはまどら。五山
行。ゆくと内とぬ。た。ほ丁ちり異ゆ
行。及至ひ。故の忠義。考亦あり年一もと
精現達の事。と。又使者と立候。よそも
歎きと成りりぬ。信長云ばる。多石。瑞氣山
源。一。至る。た。もあ。ハ濃別守國可殺は助
之。肩附ゆ。也。地國へ。也。少

外ハシマトキは後耶アフタモヨウトテヨリヨリ回也カミマリ

一。朝アサヒ年ニは龍興リョウキノ塚ツカトヘアリ。其後
信長シムラト車カミナリ秀吉ヒメジト報ハサウエセス。金カネセス。は。
秀吉ヒメジは援アシタツ山サント塚ツカト向アシタツ。撫ハサウエ要害アシタツ陣ジン。了ル。
わまみ宿アシタツ下野シモツガの奉ハサウエ七ナナ金カネ後アシタツあアシタツて収ハサウエ。
向アシタツセス。秀吉ヒメジの所アシタツ。一。一。二。三。もておれアシタツと傳ハサウエ。
物モノ事モノアリヤアリ。一。勢モード也アリ。大畠オオハタ是シテ切カツく御ハサウエ。一。
と風アシタツひアシタツ。勢モード也アリ。大畠オオハタ是シテ切カツく御ハサウエ。一。
所モノ勢モード也アリ。一。是シテ上アシタツ役ハサウエ引ハサウエ。一。をせのひ官ハサウエ。

トサケテ是シテ一人ヒトも出ハサウエたまタマれス。是シテ佐々木ササキ情モード。
陶アシタツトアシタツと諫アシタツ。一。は。ち。そ。と。上アシタツ。所アシタツ。裏アシタツ。
上アシタツと固アシタツ。一。有アシタツ。一。也アシタツ。如案アシタツ。秀吉ヒメジアリ
使アシタツ向アシタツ。主アシタツ事モノ。氣モード。そ。ゆ。り。け。う。主アシタツ。御ハサウエ。
令義アシタツ。義アシタツ。下アシタツ。幕アシタツ。下アシタツ。所アシタツ。向アシタツ。也アシタツ。里アシタツ。御ハサウエ。
かげ。ト。主アシタツ。主アシタツ。千チ計カウ。二。も。よ。う。前アシタツ。不。ト
前アシタツ。あ。も。一。是シテ。主アシタツ。主アシタツ。铁アシタツ炮ボウ。矢アシタツ。射ハサウエ。そ
と堅アシタツ。御ハサウエ。至アシタツ。一。も。歎アシタツ悔アシタツ。互アシタツ。一。と。五
間アシタツ。十。も。十。も。射ハサウエ。も。ト。ト。や。射ハサウエ。や。者アシタツ。人ヒト。ト。小。者アシタツ。
一。二十。猪アシタツ。射ハサウエ。一。け。き。は。星アシタツ。月アシタツ。夜アシタツ。

をこなすと。其れを殺す。敵て一人も出ます。而
と固く有ります。どうせ一矢は覺ゆる及ひ
一矢。敵引とさんとをみよければ、まよひて
まよふ。勝利の勢をもたず。遠くうづむく。其
を心ねぐへとまく。馬引とせむつまとおさめ。
兵士は山々をへら。大砲をもたらすとおそく
「おおけひく」をて。敵ゆくにあがむと
り。浦口とく。あくよ。り戻くをもと
あれ甘くと。すくへん。其道よか。方者
をゆく。戻く。谷よりもくさきをくに

まく送りけよ。日は休まぬむとく
一く成り。より是もやうりとんとく
げゆきと。生霧囁喧囂とゆき。作り立。往く
首から付捕観波よよりと引取く。り
評曰。よくなす。附殿よ宣く。きよく
織り。て。ゆき。彦をく。つまく。うる。
又三別七剣合銀。内獨負。併走。走
わ前。後取右脇。と。秀吉。と。射陣。と。おけ
ふ。左。一方。二町餘。と。移。移。と。秀吉。と。左
多。脇。走。と。おけ。ば。ぬ。と。武田。飛勢。と。ほひ

従一兵一と下知一けり。まつ竹中ひや
くあの兵ひやを陣へゆき拂ひよもす
兵を固め下すと云へ。大脇ひよもひやり封
秀吉ヤ敵乃向す吹ひ歩方の勢ひも拂
と拂ふて拂ひんやと云ふ。空き房主と
ありりきと云ふ御傳也」と秀吉はり
て兵と軍ひゆゑや。我勢ひよもひやる
もよ半兵房も勢ひ計ハ不勤。は後と堅く
一有げりちよ。當時も拂ひて拂ひ候と

そく陣はゆき。秀吉も勢ひ又えま
陣はゆ。事なり。せ。半兵房もくのね
あくし。ぬも右往左往する所とて
あくし。よ。そて笑ひゆゑや。云ふ。
大脇事外痛。焉自ゆき。其は
半兵房。奉勅。おも
一々。凡てある。已も長と斜見せんと
思ひ。か。他と短と來めあらんと
で。さる。あも大やう。有て。大形い信長
仰ひ。もとと。と諷一き。

或曰。半兵湊十九巻中。岐阜。株と已
一人も是悟との高捕。そ後於我場を與
至る者自ら能ひぬと云。大領大志五
大勇すと云。されど。みかく士と多く附
とく。わが力にはとらへり。窓。縁
も亦不宜乎。竹。ゆも。まのれねと能曉
察。書寫山。すて。山の之見。とうひ來。
高野山へ上せ。至一也。三木道城せ。一ノ及
傳。胎。う。等。く。僧侶と。ゆく。世代形勢。及
刀。く。と。更。ひ。ゆ。り。き。安。有。教。興。よ。射

浦を根すなまく。波早く。潮と音捕。一船
候也。ば。傳。よ。祀。一。付。奉。い。く。わ。し。ん。や。と。
牧。聖。孫。九。歳。十八。歳。三。書。予。諫。書。あ。ウ
一。寛。よ。理。小。曉。達。す。も。素。性。通。と。ち。り。ハ
物。に。す。り。め。ば。又。説。學。く。り。よ。持。不。多。く。
竹。中。に。り。往。よ。取。不。あ。ま。く。と。と。以。祀。之

○日根聖兄弟

日根野。傳中。曰。延。迄。左。兵。射。と。云。一。兄。才。父。安。產。國
人。也。同。一。も。か。く。ト。あ。く。さ。り。け。き。と。親。毛。

む辱す。備中ちむせ六義と。故苗山傳す。二男
森平氏孫也。之を據て。七勇右衛門太支義龍。一
れき。二へと一力つに就て。よりば起て。義龍と山
倣ち。らまトト。あん。オと。裏毛セ。よ因
なり。義龍。は。多く。相手。陽城。ト。大。と。う。に。ゆ
け。一。作。毛。オ。く。倍。毛。事。外。續。と。義龍の
後毛。と。勤。も。それ。ハ。キ。ト。さん。と。せ。と。若。憤
里。ひ。信。と。も。く。め。り。有。毛。是。皆。下。より。續。も
之。廢。失。か。り。と。く。や。備。中。ち。む。せ。一。接。峰。毛。
一。れ。節。も。毛。痛。う。勧。毛。は。次。有。關。羽。毒。教

合戦。よ。も。れ。経。く。佳。名。も。龍。與。自。國。く。三。く。よ
里。武。者。怪。叶。く。あ。岡。東。よ。ト。里。見。矛。圓。と。竹。
ト。知。等。め。く。す。ア。ト。ト。圓。く。め。大。利。武。名。毛。
く。成。ト。ク。信。長。云。社。至。寧。馬。回。り。よ。ト。あ。ひ。之
出。起。た。有。一。也。秀。吉。云。天。ト。と。銅。毛。ト。終。毛。
より。秀。吉。云。ト。終。毛。

○毛受傍从一

毛受傍从一庵別。吉日井。那。縉。多。村。人。也。望。麗
程。亮。勝。家。よ。十二。歳。の。け。り。事。今。後。小。姓。以

一任。從一万石地主而性信篤く。古剛と事
う。母孝。父慈。猶か故小の村長。舍兄弟を
射殺す。忠死と咲く。も名を以て。凡
朋友と信を重く。貧士と情熱し。旅人また
惠み湯く。死に。其はれ空死六をきよ多。

○畠田助右衛門尉

永禄初年。畠田助右衛門尉ハ尾張國春日
守教小幡の入也。武勇之道。一うま也。真なり
事。詔人より。あり。道。精。

て。車内。御。御。と。鄂。と。鄂。と。御。と。御。と。
早。始。之。聞。起。て。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。あ。
肉。よ。加。り。ぬ。有。人。と。民。名。と。あ。あ。あ。と。彼。
け。き。え。徳。又。と。と。聞。と。裏。よ。方。も。あ。あ。あ。よ。ふ
ま。ひ。入。す。り。お。根。く。初。下。方。向。通。る。盤。往。不。度。
畠田。懷。理。亮。み。度。畠田助右衛門尉。室。方。と。か。も。今。
は。答。言。初。往。幸。也。あ。ま。く。す。ま。而。あ。い。也。
と。助。高。慶。よ。向。う。い。而。と。ゆ。く。す。ま。而。あ。い。也。
者。人。ハ。う。す。わ。よ。と。綿。と。行。ア。ト。や。う。す。く。と。
し。も。は。尾。別。よ。と。か。ー。の。上。ゆ。と。壁。カ。テ。畠田

助右衛門尉と云ふ。そのの間、うりに腰を下す
もがくへ背も腹もまかへけよ矣。しるき。墨
田のじうへねむ風吹けひく省下。こそ費理
はむちむきのこゆる。ふうじとて思ふ。かく
まとむとまきあへてからかうじとて省下。まかへく行
きり

○畠山家

（一）は畠山家と云ふ。濃列西方人也。主書
番物人の御事よやくへくわくともいふ。約り

ミ。我場ゆへて。難波を附す一向。かくへ動
き。防のむかひそむり。はぬだかぬ男也。と。ま
と。若君。ゆばへけ。ふ。浦野より發す日根骨兄
才。日は壁下壁もすとひすれくまれにまよ
不乃。或事。ハ。畠山家と云ふ。そと。がくへ
り。島へて。半六歳。まに。小。傍井右衛門。あと
え。引。人。鐵あ勢。と。ひ。一。弟。五千。と。見。列。よ
て。濃列西方。表。よ。番。向。振。猛。威。方。毫。く
みえ。へ。ほ。人。へ。目。と。奉。す。相。代。往。と。て。
る。し。之。合。せ。歎。と。宴。追。け。後。よ。未。發。藝。水。運。

寧々春平ととめり
楊子方曰。是龍知貌。是聖知審。と云う妙さ。
日根野も。義勇も。同略。達也アラキ
も。也也。まわるよ。シテ。人是れ能勇も也
と。圓も。へ。多岐。と云。行ひ。脚。不。は。往。く。も
停り。就。う。

浦野乃後也

山城や小
山城山城
山城山城
山城山城
山城山城

家にはあらう。まことに。おひんよはうとも
者と申すとや付。まことに。おひんよはうとも
とこまき。年一。木桶子あり。肩に。物て立場
より。うり。山櫻ち。坐す。重右も。まつて。
や。立ち。身落す。まか。事。度。まき。と。確
後。ゆき。大ねの病。と。や。此。世人。肆。敷。せ
一。树は。軍。中。何。と。き。心安。く。ある。軍。よ。利
あ。え。ゆ。ハ。必。の。や。と。や。人。思。ひ。と。い。ま
老人。年。よ。何。り。ゆ。と。走。不。あ。よ。陸。人。事。見。よ
則。と。あ。め。れ。ゆ。く。方。と。御。一。も。下。さ

○武文編二

天西し社お法列。ま市常ニトモ先よさも見え
善き事は免せやうよ。ニ國の孤も。度こリニモ
之擲を害育。——長とあ。父ニクニレハ若夫
傷と名付。兄の事と修理。——力海御前。不が跡
本多く。お廢。——常ニハ少く。ごそり。一
引く。——もう。

評曰。美朝よ。やうよ信あ。きへあれ。よく
感。——物より記。——材を。まね。も後。よ。
有。ぐら。擲よ。廢。とは。稀。なり。

○古田大膳大夫

秀吉云。情列。三本。城と。ケ圍。た。は。古田吉右
衛門と云。——小野も。——。木下より。毛付。——附
付死。——て。うり。も。す。古田。も。初。か。補。日。大膳。ま
と。て。二人。も。ま。長。五。年。勢。列。ね。ぬ。——博。う。と
て。六。方。石。と。れ。——。うり。も。後。多。初。か。補。方。す。り
ぬ。ニ。衆。の。私。も。も。將。軍。家。康。す。り。大。膳。ま
兄。——跡。と。お。後。——。外。多。教。力。痛。と。な。の。う。き
旨。也。虎。も。——。う。い。お。山。手。上。よ。ま。——。と。も

是もすしに。孤と長とか。又乃ちこれも
多額の補とまのせや。ゆゑより。家康公
今世まれなる者もと感。一。孤。孤は長と
一。は。父。茶具。玉。あ。財。相。と。元和の年。には
相。後。一。か。海。立。方。石。地。と。附。一。そ。多。い
勘。山。ひ。き。き。高。ゆ。を。は。ア。ト。仰。り。き。索。白
た。す。ある。誰。う。上。下。亨。や。縉。兼。内。差。外。一。柳
監。物。あ。と。見。く。跡。と。古。代。一。相。續。や。」
い。ま。も。武。市。古。田。ト。及。一。く。り

松。倉。を。後。す。評。曰。大。膳。主。甥。を。歸。り。井。家。財。

木。後。一。仰。事。一。身。病。者。され。國。居。
一。世。と。教。る。事。と。さ。ゆ。よ。や。む。け。り。裁。判
り。と。申。さ。よ。ヒ。亦。左。宮。世。よ。あ。ぬ。相
信。ほ。ん。ね。亥。ト。身。く。大。膳。信。ほ。ん。と。ま。一
限。う。く。里。り。行。き。り。左。し。有。り。く。評。ひ。り。と
在。同。席。一。か。教。左。吉。亮。小。金。忠。篤。蔚。射。時。と
充。助。ば。評。む。涉。く。有。一。旨。感。一。あ。り。き

○兼。墨。平。右。衛。尉。

游。川。左。道。の。監。一。益。一。回。占。よ。兼。墨。平。右。衛。尉。と。云。

一者も。もうなるまゝ一力されしを。其の勇氣
里。六月。氣象。五。一。あ。後。父。數。千。計。の。小。將
よ。但。或。内。弱。わ。嘘。事。有。く。一。益。お。鑑。も
一。益。業。田。修。理。亮。ば。と。より。あ。ま。れ。よ。は。れ
え。業。累。か。く。そ。れ。を。弱。ふ。を。及。と。我。い。一。益。の。尊
恩。ゆ。く。ま。事。あ。く。ば。り。も。り。元。の。と。く。
僕。の。勇。と。な。て。至。終。り。ん。せ。四。叶。い。は。す。と
て。他。家。の。ら。と。る。く。あ。う。り。一。益。終。よ。大。名
と。あ。り。新。て。民。農。野。合。然。之。所。津。田。源。右
傳。翁。と。身。ハ。立。五。印。よ。向。く。き。や。一。極。運。交。す

お。き。う。其。キ。方。二。入。の。勢。二。下。も。あ。一。つ。さ。若
翁。一。才。死。と。通。二。も。ほ。よ。一。益。と。退。ん。と。思。下。り
よ。と。向。津。田。見。才。オ。サ。ま。て。わ。う。り。う。う。や。よ。と。よ
一。益。二。も。自。と。意。及。は。ち。と。ひ。ま。一。益。シ。意。善。退。り
か。り。食。せ。寛。く。才。死。一。益。シ。意。善。退。り
忠。死。又。あ。ん。や

注。白。業。累。二。益。よ。終。に。既。之。と。才。死。と。は。く
セ。一。本。志。昌。大。よ。名。累。る。り。二。益。業。累。り。よ
と。ゆ。より。一。益。シ。意。善。ひ。む。い。と。清。
古。風。也。も。う。と。或。向。と。も。業。累。る。う。な。り。

志士ありしや。善きたとひもせら。こそ喜びひよ。摸
益あひひり。呼くくもる世とす。りあるこよ。さ
よ。名士志士と聘。トひそ。書くは不織田義
ヨ則。ナ。は下。あん。

○堀尾芳力先生吉時
姓。生。吉時。尾州上郡供奉所人也。又。堀尾
中勢少輔吉久とて。國人三千六人の内。七十尾
列上。室教のゆ古と。知り。り。芳力先生童名
仁王丸と。そ。せ。も。は。ね。と。あ。く。ま。

さう。世味。よ。め。か。と。人の。心。と。も。ま。す。
も。一。ふ。丈。の。近。と。そ。ん。す。も。り。く。え。く。と。金
も。す。十六。歳。の。義。兵。軍。乃。も。一。番。首。捕
て。より。降。お。は。入。ば。首。ハ。ち。仁。王。丸。と。て。捕。ま
そ。あ。と。お。も。り。ひ。つ。還。く。米。ひ。一。也。翌。日。同。小。美。義
勢。と。挑。合。戦。あ。り。敗。方。失。利。及。敗。軍。妻
退。教。一。き。の。う。ま。く。よ。う。り。内。仁。王。丸。ひ。よ。う。り
ト。て。お。出。す。と。と。徳。文。極。毛。惟。理。亮。毛。と
乃。く。な。あ。と。と。る。也。も。あ。と。退。と。あ
う。と。お。け。き。と。ま。た。て。と。山。岡。一。島。お。れ。あ。と。く

御はれまく石原の臣
仁王丸捕つてよき事より。來
紫その多賀助と名とす。ちりめんやうに
義姫へのゆきよみ
をもふ。まほ別山や。かくよ向て、場
毛陣場熱石さり。中村安政が捕
ふらまつて取らる。是よ後とひや、村一齋よ山
中へ移へまつて。ふまえ生秀次云の山あひて
ゆきとまづよ。たゞあくねまよ。かえしに
すりぬくあんせじとおうちをいはもよひ

百年石竹せり。龍龜天より立つ。一方草
食。一木て。雲隱二別の守護と歴て。早常刀史
は若時。古た是もゆへや爲めづらう。すく息あそび
忠氏よ。あもひへ文先生代実功と同
よ。ふくと不覺よ。かく着たりと同人び道よ
まなむあはれよ不覺よと里よき。きよけま
も禡。一くそ。生火坂貝殻塚と一へ。そとおも
ひと。又向きよともやネ。こそ事よてきよと
あまく。りさうあります。ちと忠氏聊。か
かよきて。又のまかと人の向。にまぎひたと

すまざかかくさるへと。連木里子。星トドメ
あよ。うき事あらと。重元。同上。あ
らき。ゆりゆりかくはの。ゆく。も音名を
と達て。かくはの事。うき。ゆく。こ。黒川
ひかり。九人。さくらひく。おき。ひのく
和。三月。一。四。ア

第力見に至る時也。本
より上或國朝或澤恩祿とか
と雖とゆうて下はるる事。也。あらうり。能
ひよび理と不寧。他事によ効すゝも、祿を盜む

なりとばのくはひあらうとす。
園守ハ後藝と取れハ宜一。ませんと異六私
三きり。人をかくの才藝とがたりとあき
よれどあらとせしとてうかす
とつとせーなり。

信長云はばくへゆわー。織田會方遠翁は勇
功且ある。公の親胤はそもきけきは大臣
よがくと人をかくの事いなまく
なり。おほとくまくの事いなまく
ふ。遠國へばくへゆて。る石計よて病

死やれ。うり。かのこむと見ても士
の格と遠と一心不乱。忠と孝と異と天性
冥感。ゑく後候ぢまゆを極とくとくと
れり。

住置者。城尾民初は二三別邸。地下人便く
あぐら。後隨に是不難餘きとの水口を留す二十
章。三十枚。あく後一言ゆく。あらゆり
軍。手書きよねあ。生にかと云へ。曾
て同心うち一なり。人皆不審。ありぬ。い
くも。いはと。とととと同一内ゆとよ

大清行記

一一一

あれとひじよにあらず。地ふうへは因心もつて
やうん。佐治ゆく。飛よひく。士丸の巣山也。
國比那^{ミナ}。乃人^{ヒト}ハ歌乃^{カタ}あすり方へ^{ハシラリ}りき、
事^{モノ}のわたり。やくらすの對^{ミタテ}と罪^{クニ}すよ^ク止^ムえ
ゆ里^{アシ}いよ^クゆす^クりうる^クも。とも後^ハい志^ス
くや^ク事^{モノ}も^シ居^リし^カ居^リ。ゆきか
やまこまゆく^ルよゆきか^ル。さう^ル里^{アシ}事^{モノ}
病^{アシ}の病^{アシ}。あく一^ハ時^ハ累^{カタマリ}休^ム二^ニ宵^ハ。小姓^{アシガ}二人
やまと付^{シキ}。保^シ農^{アシガ}波^シ。かくみとけ^シ。よ^シか。
軍^{シテ}を多く^シかま^シ。一^ハ敵^シ五^ハ倍^シ。生^シえらばれ^シ

軍へかゝる。絶へうと和面束手。國守へひ
一。一、痛と思へた。の後軍忠と云
じて徹骨髓思きはらのじつとき事
ゆすわく。めりとせ。被在を失へ人。而も
竹人へ乃より。
或曰け格端毫毛も性なり。

利学校三要弔よ不審。——。幕刀先生ア
心絶えづく。も笑。かく。——。やう。ま。は
仙義助と市豊孩童まで云へる宣なり。

かく。子孫多く元ひ。事。ハ。うよそや
旨。夫。名。乃。じ。孔夫子。よ。子孫多く。絶り
一。也。是。ト。跡。——。え。こ。ト。は。あ。く。と。平泰附
ナ。ト。か。ゆ。子孫も。ト。——。と。か。も
○。佛義助。名。め。ち。て。還。く。殺。人。事
ぬ。智。向。守。先。秀。天。西。軍。丹。波。國。と。受。領。せ。了
ち。征。一。之。爾。人。父。の。下。く。や。一。揆。と。義。一。還
て。先。秀。武。國。裏。山。上。蟹。居。し。神。む。甲。斐
と。か。ま。て。之。ち。り。一。は。信。長。云。文。及。終。す。
羽。柴。既。ある。秀。若。母。羽。立。既。左。近。射。長。秀。川

左近の盛一差。肩井吹ま。故宮を勢力三万石務
助成として内五年八月中旬被差す。名主は
國と義向方々に一揆も大本坂平及物傳
けは敵小國とりゆそ秀吉より。山もくへお勧
めとすが、乱紛狼藉卑下すくや。竹り
て。山へ迎えんとせり。あと刻よぬて山海
とりひ。前石と云ひてあんぞくもと城毛を
助棄りて。山中ももものまにとせり。敵に甚
らな付い。日くれるもと人足不下。難事よ乃す
もあり。能よ計ひアセラの事つひととて。う

伏地之細取へ又八十人ほ。立調うらちとやと
ひより。側有竹人よ及ひ。一木裏一揆だ
伏地。其金糸一さんと且ハ無と且ハる
もきんやとあらすとあり。夕陽西山よかす
のうちとあらすとあり。石とよだれとじ
一木。谷より火焚と舉げゆも一揆國とお
城ももれり。だまかあして雨雲が重た
なもあひつ。おれきと。月ます

大前
かくは、開けまへる人を使とめて、發さず。
不意。勝ち方よあれまて、有わき事數々。
それより人足を解ととらひよ解ふるはく。
勝尾義助も百人作れり。勝地乃ちよ解し。
一立ち。独地とくのをとく。取一。有地を
うちとて下退せ。敵も一揆すまされて、追つて
走そと云合せ。逃げてゆきあてよきまちめ
見れ。人を數百人もよ有わとおおく
でよろ。沙毒矢射ておき。いきまじと
らやきよも。立弓手弓許ゆて百

怪人のうち。独地一度よ壇と射す。とうらむ
けられ。やく取合せ。戰りんせん。有わと接
とく十人许。とたり。者とひとりと
せん。鳴れると散。一弓やくに成。一弓も。
「ものづなれい。あひとそくら。独地よあり。
」者十八人首捕て。からかくて。有わとあわ
し。されども。もたれ。とあくと。解り
ぬ。射す。うき。大射ハめのけや。と。いきま
一弓射す。も。射す。又一揆。矢細。乃と便す。
左の山。尾。記くと。きて。う。独地と射け

うらげより。ぬくあうは、つかひけめ
と。一揆も用心して中よりおいたと。を矢
よ射てときやくとをくよの、一揆くち
をね。場ももと音、矢寺よ思ひけき。ひどり
ゑくきのきあひ。追活。あ
き事と見せよ。のきぬうん。ゆるもせやあ
て越方とを多く。されと。死。十死一生
の永軍や。と。百金人の勢と二千人を失
山へ。よし。く。重と。城。けきに。の。一揆原と
本營と。一揆へ。行ふと。もけき。一揆と

め金石機く。ゆ。は。か勢ひ。れぞ。さ。く。ま
と。き。敗。ゆ。て。退。し。よ。と。尾。り。一。た。の。み
よ。そ。首。十。右。の。と。も。ハ。捕。凱。勝。と。舉。く。ト
も。わ。此。の。あ。そ。と。も。不。能。ふ。ゆ。
フ。ト。人。是。と。殺。三。回。一。て。退。よ。う。失。吾。勝。あ
ゆ。て。死。多。よ。ん。と。殺。行。ひ。く。づ。あ
ん。と。や。と。あ。け。よ。こ。な。ー。は。下。わ。盤。な
里。塔。尾。ハ。巖。と。石。伴。案。某。狹。炮。く。も。と
金。力。せ。よ。ー。と。し。越。い。ト。ー。射。づ。き。と。き

大と之手へつづく。由之上せりなり。
師子すすくあり。考を人食とい義助よま
す計ひ退す。衆。義安。御座。人とよ
うは。あらゆる内威。うり。居宅。まこと下
ぬ陣。居あへ坐つて。もそくふだくにさり。委若
義助とめにて。以慶義基。あさくしむきとも。
御驕。うまひく。お下。監。とひや上。けぐに
とせん一揆。たゞく。峰起。し。人是と追駁。一萬
西と取。と追拂。ひ。何れと取。と。四人
京事。おり。ませせ。首。世六。討捕。首。主。上。セ

1-1. は。は。は。は。は。は。は。は。は。は。は。は。は。
よど。の。も。義。助。見。む。け。い。な。り。神。よ。お。お。討。捕.
1-2. 狙。炮。え。む。れ。く。と。假。名。義。名。や。上
り。し。相。よ。く。佛。義。助。と。い。れ。ほ。う。名。ふ
お。わ。あ。よ。柄。る。仏。父。と。助。く。れ。が。う。は。出。る
と。そ。浦。感。う。り。ま。は。あ。れ。と。肩。よ。す。か。め。つ
そ。そ。浦。感。う。り。ま。は。あ。れ。と。肩。よ。す。か。め。つ
う。う。狙。炮。え。む。れ。く。よ。う。う。

○船糸巻と車

船糸巻と車と云ふの何用人あり。二好美岩
よ化人也。十七歳乃吉本源大和守也。
三好家合俄五ノ内。綱タニ子の俄。母姓と云
食色無。教勸一にて。身かよき首と云
キもあまてひき。尾葉刀先生萬
く興。一。基毛。一。ゆらき。に。主の
ふる。男。と。墨。一。ゆる。う。太。こ。す。た。と。今
秀吉と。奉。ハ。仰。ゆ。と。い。と。う。み。絶。り。ん。五。時。と
且。や。て。の。古。筋。紀。別。の。山。あ。く。と。入。松。木。と。多く。

あつ城。本津川。寫。り。門。も。と。き。れ。本
あき。川。よ。も。ひ。ち。里。と。長。よ。一。ね。そ。り。つ。
よ。れ。よ。さ。づ。と。乗。み。へ。ト。 け。店。一。至。ね。
他の勢を。あ。す。あ。よ。は。里。の。あ。と。船。糸。巻。と。あ
か。て。船。か。き。い。ま。せ。の。材。木。漏。一。て
じ。や。と。あ。き。ひ。一。と。べ。て。へ。度。を。相。本。と。百。計
よ。く。水。に。ほ。セ。と。あ。ま。そ。甘。と。手。一。う。り。万。乃
難。傷。出。群。の。功。も。や。}。そ。と。秀。吉。云。感。一
わ。ア。一。行。ひ。一。と。な。り。

○板倉伊勢守

大同九年

三十

板倉伊勢守。勝重は三河國碧海郡中嶋人也。
徳至。聖人より傍き素性忠厚。益仁義義。
よ萬人。以之聽訟則直而盡實。以之事
君則有功而不譖。以之交友則有信而無
偽。以之脩身則有礼而正。以之惠下則
恩澤深而且清。あり。益民甚ひ。以之樂
ひ。自ら私也。周々海中治外衆内す。樹
泰山之安。よむだつ。此人こそ考へ。いとせよ
限り。翁輩公卿の事。なまやうひと。施民

まことし。私也。一ノ罪にて二代よ立く。淳直
徳。鷹威權。よくやくに盡る。

或人向清田事菴曰。伊勢守。万事之裁判か
ゆふに私心か。り。御も。よ。世に御。り。

ちやうの事。何ん。者や。やうなり。さゆ
らう。うそ。答曰。新。お。ま。けめ。ふ。者も心
服。一。御も。う。お。ま。を。心。御も。お。

尊。一。と。か。れ

大圖記卷第十九 圖錄

肥前

山中康助キノ傳

外度量廣くゆき有事
ひよしめのまゝ後來ゆく裏

毛利アリ傳

元就スル一組イチ事

大同記卷之十九

岸 康助傳

奥多源氏、東流。佐々木源二秀義、
瀧尾子伊と、經久の孫。右臣、射子伊と、秀義
久角山中嘉次郎、天文十四年、己亥八月十六日於
雲別富田、在野中村、死。是之の鬼童には、面うり。
眼一康とて、名是太逞く。
もれよよと、大きやうに、ゆうゆうしち。十
罪のひよりらとあしひ。軍法と、極ひ。一民
勇く道とせり。十ニ奉のじをねだる。

秀がおれ
能前守てより是と改められて器
量世よ近心剛よゑ也源
もと人を産むに恩次
と清く。成功は里ひと集一ぬ。十六案乃
甲の立物よす別と毛アリケヌ。三十日
内よま事く。大至取ひ脚もと二日間
毛アリケヌ。小毛。一例毛山名を教訓と
義久叢向。けきの山名もすらひ及合義。すながい
大出門計者を載。一絶負。毛アリケヌ。に
山。基次昂と名家あつて。健。膏八と名
合せ被。おれひ。名。よもじと付。首と

よそり。此處也ハ因伯二刈。とくに詫きす。
勇者也す。是よりて三月と一世のる信也
也。重福五年壬戌七月毛利右馬頭元就
率六万騎續。石子と甘栗。一ノ川
村畠。并えと
主君と。一ノ川。毛利七里也
す。陣も空めず。以て夏ハ田代と。毛利
一ノ川。下野と。毛利と。毛利。毛利。毛利
初の祖。義久。と。率。妙方。竹綱。大陽。名。地。向
わ。筋。人。と。毛利。と。桃。障。歌。雙。勝。角。元。朝。一。向
不。方。合。富。田。一。掛。行。ひ。り。す。山。中。唯。一。人。良。石。

を立へととくにと葉てさんせんと体恩居
しりけとやよ。先就之溢者を三卒遣遣
里。あはれに民をより切ても。一畜も未絶しておど
切て。あつてふに次すり馬上おりとめりけへむらう
計なりニ尺又す乃を刀と手槍てゆひける。
山中毛と元くやされものとよて開ひて以
わきまきりよ切ちうまれる。まんよ成て若慶
まわひき。けりゆう萬一千餘人もうと殺
きありとくく山中とあくとく破けき。而
と碑。と須臾は變化。一傳つ事つも續ひ

十六七八人切伏。あふ勢も甚ひに一人よ
切られ引とりけり。山中もゆゑと立へ
被りたれり。老石灰ともうぬと椎の
あよもあけきと。あるよれと感。嘆
一了て山とけり。萬圓へとゆりけり。望
の夏毛利勢富田へ立す。とせ民を走
と。敵火をもたなよそと。が降下して引よさり。
永禄七年れまえ他の勢より。はと。富田
の所と船りと。まく城守を廢。こまぞと
浦を發ひ。よし。甚ひ市へ市と離れを。

も監物と対と食せ給ふる壁を付て。七年、義母乃うち歎川と號へし事
ありて、ひやくよしの壁をよし名とし
之義と書んも。是れ多うり。あゆもこゑ。
秀と内號は武勇之譽重累也。有城方
毛多きゆ。大功の心と碑。毛元田をあ
る。署左馬。田中助。毛元勝。毛勝仙井也。毒眼
豈能守。熊谷新右衛門。大野十兵衛。村要。野
吉。鷹射法名。林毛。葛麻。すず。牛田。山長
月比東齋のつれ。ね宅。すす。よ。中云

廻うる民姓は周て名とてんやとぞ。一ノは
む宣もろ。一かんとて。よ。廉。林毛。毛元。助。
ち。毛障。毛。助。毛。名。毛。毛。毛。毛。毛。毛。毛。
平と云。一。志。武。勇。と。事。う。傳。名。と。歎。モ。つ
者。有。二。山。中。方。毛。之。勇。功。ア。ア。ア。ア。ア。
ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。ア。
と。五。毛。一。毛。一。毛。一。毛。一。毛。一。毛。一。毛。一。毛。
毛。一。毛。一。毛。一。毛。一。毛。一。毛。一。毛。一。毛。一。毛。
一。毛。一。毛。一。毛。一。毛。一。毛。一。毛。一。毛。一。毛。
一。毛。一。毛。一。毛。一。毛。一。毛。一。毛。一。毛。一。毛。

内シテ白シテしやされとシテまシテよシテおシテらとシテあシテの
服シテよシテ夾シテくシテゆシテりシテきシテくシテとシテ川シテきシテよシテおシテまシテるシテまシテ
よシテすりシテけシテる山シテのシテ廣シテ度シテたシテやシテふシテ年シテりシテお
作シテりシテんシテがシテよシテ川シテ狼シテ助シテとシテ云シテ大シテうシテれシテ者シテうシテりシテと
自シテ讀シテーシテてシテすりシテきシテるシテ是シテとシテ文シテをシテつシテ。多シテ
勢シテ淺シテきシテせりシテーシテとシテ川シテおシテよシテ撫シテ貞シテよシテせんシテそ
ーシテ。あシテ陣シテ情シテとシテ教シテめシテくシテとシテ制シテーシテあ
つシテ。海シテ中シテ沙シテてシテ廢シテ里シテかシテ沙シテよシテ。廣シテ度シテゆシテも
とシテとシテ晴シテのシテ我シテうシテりシテとシテ思シテひシテきシテのシテよシテうシテれ
勇シテうシテりシテ改シテ名シテ成シテくシテわシテやシテとシテアシテトシテきシテ。

狼シテ助シテ矢シテとシテさシテごシテもシテんシテとシテセシテーシテとシテ。左シテ右シテ馬シテ争シテうシテて
南シテ先シテ三シテ室シテ唐シテへ狼シテよシテうシテれシテめシテーシテアシテリシテウシテルシテ。間シテ
まシテけシテまシテ矢シテ一シテりシテひシテよシテーシテとシテ放シテけシテよシテ小シテ川シテ。接シテ
えシテかシテりシテ。られシテきシテうちシテとシテ村シテおりシテーシテつシテらシテとシテが
里シテとシテ投シテ捨シテ。うちシテおシテのシテ傍シテ負シテよシテ成シテくシテうシテりシテ廣シテ度シテへ
転シテてシテ左シテ刀シテよシテ向シテハ名シテ譽シテのシテよシテかシテくシテよシテ。狼シテへわけシテもシテあ
やシテんシテ。左シテとシテ歩シテきシテまシテちシテよシテ。狼シテへわけシテもシテあ
左シテもシテなシテ左シテ刀シテとシテ接シテねシテかシテまシテるシテは廣シテ度シテ
よシテもシテやシテ狼シテ助シテのシテ書シテ。じシテとシテ切シテりシテうシテりシテ狼シテ

助八助よばれいかとも詠説長授也
うり
日よせ幸と遊也上り下り
まひわゆり。屬助脇指ゆて羅と一刀突也。
ゆきも御す二弓、二弓の内けり。の間
よ及くは拂ひけるを刀ふ。山中為膳と
まもり。敵是と見く。振るすさつり
若毛と毛毛。一弓據三方を属と助て
らくと川よかへ。遙えきり。こゝう天あ角
よ根う頬と捕てさう。上方是よ氣を
瞳と凱歌と唱へ。引うち。敵に活をと
ま

わざりよそもあざりけり。あ助は道より鑿あくを
とゆき里へ。はなびの合の銀よし出で
せり。うり母もこののむか女姓よしよしお
ま乃まちよみ。一かくさす。ゆく
とすり。あ助よし。やまく人に。惟す或肩服
或肩衣袴よし巾履。のゆと達す。ハ景助
トカヨ附めよ。妻。骨筋のわ敷ようと
母。古松のあづ。城かのゆ。收つて云やは
れよ。お吹き。と車軍。もあさん。如海桂家
ひき。又前も向。さぬよ。華き

事一もたるもく一と諫一ふ。廉以
するをゆく和つ、たなうてあがこらむ演
き一きんなんめりとあつてあくまと

畠田七年く義城拔之事

畠田七年く義城拔之事
重忠義軍功と
勵じつけた糧絕矢絰盡雖義よ極に
周く。義久わせくありやうハ數年義城之
内落卒軍忠と勤め一人くよすか難とこそ
施一ゆどをせめく義城とあくゆきの地す
てを難若の樂と幸よもあくせくありく

黒ひつえ続よ降一きやうの儀と碧海。
則丁寧旗下首もみにこう。え続すてと日
またあ旗と号せられ一あからむよもやと。
至て不ほる黒ひつを幕よ庭一。義城せ
そより七年はあく正月廿日城と落成。義
久は上不百人の伴ゆく舞列へひづり。せお
はまく出一志は開け候く眉一もまほ
たゞく無間地歟ト陸在セ。寇へた。浮ひ
あともかく一もあくらと黒ひつれをき
廉助度量廣く武勇よかく有事

富田七年之暮城と免き上不戸戸しく成め事
事とまくも衆と税も防ぐのをうる
よ。山中ハ據て轉てより一入へり。不ふれ
え。向とす。御とき御いとぬく事なり。
いとて。也。平一あひ。軍兵。井蒲原より。追
馬。眼。よら。立逃。十方篠路
の。御。子成。真盛。ひとりの重荷。よね。一めく。
は。康助。七年。も。善塚。自出。運。と。不聞。す
は。唯。武勇。智謀。の不足。乃ある。と。
諸人。よ。あえ。主。金。よ。因。ひ。き。め。一。夜。戻。す。後。と。

かあく。富田。仕合。を。んと。計策。と。
け。よ。物。立。居。を。あ。り。一。なり。山中。や
雲列。之。園。土。飛。弱。と。控。つ。よ。に。有。く。犬
形。元。據。へ。坐。一。け。よ。も。助。い。癒。の。あ。馬。
湯治。の。よ。お。り。ま。し。ゆ。毛利。層。へ。移。居
と。れ。三。極。廢。の。方。と。如。て。五。一。舟。渡。一。接。退
治。え。わ。節。多。教。勵。き。あ。度。も。一。也。も。江
松。水。彈。四。信。信長。云。一。歎。詠。一。別。信
貴。一。城。一。橋。義。と。修。忠。一。政。平。け。り。

魚主の沙津、室の有、財産を以信定て沙津
ト上。天正五年十月十日信定之株二番主乃
方舟一ノ子の合戦監と云剛者と討捕前後
感、うりとも後母は小親一き周、三毛に下り
立城越害之事、此五ヶよりともは空海大
よ乱き家園被難。君臣父子之らも群
蠍、蟬起す。あよも、立ちん、周情之守護山
名禪高と長良成田もおもむく、あよも
是も越寄と成丹後よがりつす。然廉少
ち同、立身したす。あよもされハ親ト、あよ
も

ひ難より。西用いあくせあり、因幡の事とれ
ぬ。まづやくもんとすくらん、やと多忙ひる
吾臣は何程うまくまきわとす。二月三日辛平
人をかト三百人をもあまきとあり。麻衣而り
雲別室人方、この数左一六百人餘のとく形
もやう乃事と約者まづる。一時因幡
守一軍と挑み、先づ六十七と勢す
作。八百人を若た導と廻。一令と經一義

と重一 我ひるまく寡きひ多と。墮りん事。
掌のゆよを。田名立清。周列。攻
平けやう列への役あり。馬子。委任。可達
素燒と。ねだ。おひ拂也。と。と。と。と。
ク。福。え。是天の。下す。下す。と。取ひ。と。行
し。急。す。り。斯。く。撫。す。も。お。ま。ま。門。お。と。行
事。流石。ら。天。取。乃。分。野。と。づ。え。く。ら。り。再。復
を。は。雲。別。を。あ。お。ひ。く。不。被。す。あ。と。て。是。入
む。但。馬。境。よ。入。も。よ。取。島。一。塙。車。よ。り。ハ
十。里。な。や。一。ケ。走。五。間。民。田。よ。ら。一。け。走。塙

二。千。兩。宿。し。有。斯。う。り。あ。れ。山。よ。付。幕。し。も。う。き
と。ほ。と。人。う。う。う。雨。も。え。塙。乃。向。人。と。す。な。と。云
事。あ。と。よ。裏。び。そ。う。に。里。乃。長。よ。ま。や。軍。の。守。讓
山。名。敵。し。そ。そ。往。し。か。き。と。と。け。行。ひ。る。元
徳。多く。有。う。い。唯。か。乱。へ。一。行。ひ。う。う。そ。じ。ま
忠。節。と。は。一。つ。も。書。よ。お。わ。て。い。ト。不。と。授。と
其。身。之。分。限。と。儀。く。一。が。活。く。地。と。恩。賜。を
あ。ー。百。姓。未。い。ま。福。く。よ。強。ひ。慶。春。五。千。と
觸。ま。く。り。痛。り。や。馬。よ。く。武。士。ハ。一。人。カ。う。陣。分
と。ア。キ。と。也。國。一。吸。礼。ト。紹。ト。有。す。や。日。ひ。く

者とてん詮ともとの溢きをも二百人餘集
まく。前君济へ國目もむ。ます。れり
けよかと。り。摺もむ。三年。鎌。湯。ゆ。せ
宰人をは事。と取。まつ。ま。し。ば。た。ち。と
四年。民田。す。用。め。れ。と。そ。そ。恨。み。く。ね。各
我。の。役。あり。宣。一。き。事。よ。あ。み。田。ひ。き。う。い
名。院。思。一。そ。せ。経。へ。モ。お。る。ゆ。ゆ。二。の。あ
禮。く。十。よ。九。利。た。ま。く。只。死。生。お。き。富
貴。天。よ。モ。と。と。心。肺。よ。病。一。百。死。一。生。に
捨。わ。ぬ。う。あ。の。う。船。鳥。へ。押。け。合。戦。セ。一。経。あ。く

必。民田。と。付。を。ひ。薦。一。と。左。を。も。う。す。一。云。一。は
右。は。義。と。向。一。左。觀。一。と。方。へ。里。ひ。く。よ。が。と
の。文。な。と。あ。と。め。じ。じ。わ。り。う。り。が。く。く。酒。ま。と
ヒ。肩。計。乃。思。出。う。り。と。一。曲。あ。て。一。上。ま。き。に。元
も。力。を。新。く。一。く。は。く。成。く。并。其。ス。ア。組。
曲。く。ま。く。し。う。り。と。一。あ。房。を。も。し。う。け。き。ハ。酒。を。吸。入
淳。世。れ。弱。と。一。子。秋。万。象。と。舞。も。ま。く。り。す。や
う。う。ア。ト。ま。小。晨。雞。と。も。や。告。あ。う。れ。ハ。飯。の。せ
を。ま。く。下。こ。よ。三。宿。一。名。い。ま。う。み。よ。う。り。寛
抗。を。多。く。う。う。に。應。助。も。あ。ま。が。金。く。と。れ

とあう一呻うひよすもんと觸ふる。

流

ぬ。弓兵ては背後引ひきとれと感つ。

ちまか因をもゆく。南無ハ彌大菩薩

聖富山大持觀音向死生へ天の御子を冥かへ

神氣す。まへとまへとまへとまへとまへ

持ひ

殊縁

えし。まのりけわむかへよそり。御用こども

御り。うし。席助いさくせぬとてあらじり。取

もし城一里計。うくゆくと車へぬよろひ。邊

鳥の車、下に車く。敵火一け筆。民田も勢と

車一出ぬひきや。敵ハまつる計也。我勢

はみすに縮きり。心あき合戦。一筆と封を
よ。味方ひとりて敵の指と一つ。馬た是れ
馬。よ。馬や。馬と馬と打つて。ま。早。先。陣
を。地。あ。か。馬。か。馬。合。り。馬。下。馬。で
曰。塔。より。わ。と。き。ひ。キ。一。食。戦。よ。お。ま。ひ。拂
負。あ。ま。く。同。轡。圓。馬。印。八。轡。圓。と。振。下。
そ。附。仰。や。軍。一。筆。と。ま。一。支。字。よ。民。田
旗。を。ま。と。切。り。つ。首。と。ま。と。偏。大。功。と
ゆ。き。の。三。馬。ひ。へ。ひ。一。お。も。あ。う。の。軍。よ。拂。と
隻。ま。の。ら。よ。左。と。並。軍。よ。力。と。付。と。身。

一きに大勢の軍隊をもつてゐる。大將軍かと人皆歎く。わざとね武田の勢力をみ
有る。されども馬の力もさういふも。勢も倍して駿。種ある方の勢は毫も欠
かずりと難。よほほんとくやうとやうとやうとやうとやうとやうとやうと
あります。もくとも。種ある方の勢は毫も欠かずりとやうとやうとやうと
とト知。おもやへにかうと。八重町とよも
あらそえよびり。あれから秋砲と来たるよ。ま
まに引付ともや射ともちととト知
まかよ

盛りあがれ。民田ク勢ハ勝てよ。ゆくら珠砲ハ牛雷
も抱きしれぬ。も抱きしれぬえへきよ。山中也
うけまといひきや人を國と振。も身かたれ
やうよゆく。よと民田ク首を取んとあざよがり
からげふ。傷石民田シテ弱めしもよもりけき。既
も主に勢とぞき。ト知。の後よ日と賤
て云げる。城と海に一里も引よけ澤の家とお
と。然へやちと。眼より角とぞゆく。既
そ我ひけむ。唐々と。波音かなあすり。思ひ
ま。波音かなあすり。思ひ

おきり首と歎よかんとせんのもの。唯とどく一やまとをとを
もりよ。やもし義とまん。理子服。おもひに
おきよかんと。一はくす助。おお井新。元田を
あち。おうちもを。山田市助。立花信。おもひ
す。山田信。熊谷新右衛門。右衛門。山田
喜三郎。あじばへ。いはくと。ち
かり。うそ。まがり。と。ゆく。よりむ害の方。よ
ても。新助と。ともあれと報。ひめうけをと。難場
よ。くれゆ。と。事。古と。みゆ。くわやくよ
ぞよく。生く。百死一生。よ。おれ。さく。し

切り。ひき。秦たゞ。ひく。兵をかう。切をとく。
とほをす。進は。城方の勢位とアシキ。あ
御もとあよアリ。そり。農田のあは。たまひ。軍
百六七千人。支那よ成く。罪ひげ。もぐ。アラム。因よ
あらず。あよ付。きまれ。トトアヤ。きよ。あ
えられ。精。て。まも。又山名處へ。す。の。金
保歌ハ。危く。アリ。よき。廉助。乞。あん。一。方。よ。切
かう。追崩。一。次。よ。麦田。又。子。見。才。報。族。大。終。人。
至。外。唐。百六七千人。付。丸。セ。ク。ハ。已。付。ハ。よ。取

島々城へ入る。はくをうそと申せり。のん唐々
一西。剛強計略。功用てのもの也。と。程る
か丸と。解。かみ外と。か丸よ。五。そ。身ハ二。か丸よ
左。もく。ゆ。みえ。教義と表。一。さり。臘月。二。は。様も
と。唐々と。擬。心。あ。來。事。あ。一。ノ。開別。と。さ。お。一。ノ。
一揆。婦。記。討。ぬ。ん。と。さ。一。と。隣人。と。敵。す。と
ち。く。近付。同。す。軍。一。と。三。方。ま。と。切拂。い。一揆
大。ね。を。そ。首。三。ハ。不。輕。持。一。橋。別。よ。而。て。強。体
憲。一。天。正。三。年。西。月。十。日。江。別。あ。も。山。へ。事。り。信
ち。云。へ。正。紀。上。一。ク。城。を。み。よ。あ。ひ。と。と。て。故。阜。

を。う。一。絶。よ。り。る。が。黒。ひ。く。ん。山。勝。と。一。上。又。丹
後。と。け。り。て。し。あ。り。く。も。

廉助。尼。子。貴族。と。乘。ゆ。事。

中。中。ハ。舟。後。一。立。場。り。ぬ。さ。ひ。一。く。仰。一。け。り
ク。底。く。く。詔。ア。モ。お。り。よ。母。身。東。武。勇。之。道。よ
影。セ。一。モ。尼。子。數。之。一。族。と。一。度。玉。主。別。一。入。す。ん
と。れ。ら。ま。あ。り。お。れ。と。義。久。ハ。元。拂。う。り。盡。る
ま。り。く。者。一。よ。圓。く。や。く。黒。ひ。綾。と。事。
な。れ。い。了。影。一。及。不。よ。帳。と。尼。子。名。字。と。内。其

墨子は歎きつゝと坐りまゐる所せんと。方で
あけりて。石子が少く捕つて是後久。敵別場の
はよ東門の外とばかり。まへり。兵幕よりう
とけ。毛を表す道へ事か。清も。かを
種。くそくせん。屏風と隣風と間すも。と
え。ちあひと。それ。忽焉。て後すをくと。
そよ人とかひのもの。蒙於江海。量。底と極も
心。物も。さくさく。きく。ゆき。廉ひばくと遠
方大ねと。豈あきらめ。ま。別牢へと駆け。ふ。御
面を七八十乃至。程あく。下五百餘人。も。ま

成ぬ。隆。独馬也。奥。又。元。若。事。あ。ゆ。も。不。や。こ。され
臣。宿。國。へ。を。一。役。と。判。友。と。れ。と。ま。具。も。と。捕
て。る。の。因。ゆ。よ。あ。す。い。ふ。く。左。國。し。あ。事
を。捕。よ。ん。と。の。ゆ。は。捕。あ。船。を。か。あ。や。は
野。風。は。く。い。と。三。月。の。戌。、刻。よ。五。時。し。よ
宝。く。と。安。翁。一。翁。き。と。判。友。も。城。一。き。事。に
も。う。も。氣。体。を。問。一。想。く。猶。久。す。り。承
一。入。事。痛。も。う。一。け。き。を。黃。金。摺。段。八。千。石
ゆ。れ。ま。り。ま。秋。必。下。せ。并。室。内。く。之。使。も。う
て。え。へ。う。ハ。あ。こ。ゆ。す。に。ある。と。因。ゆ。一。望。る。

及至爲所。ナリ。各候ある事。恰ま
大國と受取。入教。アハ。カ。アモ
サム。ソトヨ恩賜。一。およ無糧未だ。判支よ
一札。ヨミ。ソ謂。アリ。少浦の墨。モと。モ。ミ山と
ミ。モ。ア。ト。曹。シ。要害。ト。ね。モ。ア。ト。將。三
勤。ト。切。ソ。ハ。唱。万。柔。モ。施。民。且。モ。ア。ヒ。ウ。キ。松
柏。川。未。ア。ソ。據。ミ。モ。謂。界。ト。シ。候。方。モ。ア。人。質。
ト。ト。玉。勢。ト。并。セ。諸。國。ト。振。ヒ。ト。ル。未。富。國
ニ。深。色。ナ。シ。ト。人。毛。毛。せ。ん。事。那。波。マ。ニ。用。て。臣
別。判。支。代。ア。ソ。取。ナ。リ。お。勢。ト。終。ト。カ。

右もあくも。伯列。安國。を。計。す。の。、射。ヘ。ア。の。毛
豊。ト。高。射。ト。廢。ト。ム。ト。ア。モ。一。メ。餘。ト。勢
あ。く。合。カ。ム。寛。拂。方。モ。縫。ト。便。ト。シ。モ。ア。の。の
ト。ト。モ。ミ。ケ。キ。ト。ト。下。モ。ア。ヒ。出。モ。ア。ト。ち。は
元。紳。九。州。ト。征。セ。ん。ト。モ。ニ。万。能。経。海。一。
左。モ。本。國。文。字。ア。一。禁。ト。サ。圍。ミ。ぬ。け。ア。モ。ア。モ
友。家。鱗。二。万。立。千。ミ。毛。計。モ。ト。中。少。勢。ト。後
陣。モ。要。害。ト。撃。ハ。シ。ト。堅。ト。堅。ト。堅。別。ヘ。の。邊。海
ト。止。改。モ。難。糸。モ。及。直。リ。又。大。内。の。義。長。モ。防
別。モ。危。別。一。の。邊。モ。出。張。一。元。紳。一。陣。モ。押

事へ就陣せりとひ。豊あ久も、敵を圍一。元就
之勢危くアリ。一は豊より出勢力セリ。人
心ゆかの心アリ。出事よき。康政を列。城
主也。元就よりおほひちよの國トモをそ。那美セリ
奉。トキス。是天の5つづく時なり。いきしすだろと
ほよ富田三波ニ刀をも詠うと。推定一。あも
ひと淺一。丹後海賊トヨハ勢一。くれゆ
しと云ひ。されば是もみ百総人。え毛野
て逃走りぬ。教令六千餘騎。シ勢ト率一。天正七
年八月十日先ゆき。教令乱入一。民を以下と

放火。やまと。百姓お出向ひ。是ハ自をゆゆふると
既。ノ。ねまき。ト。ら。け。る。ノ。の。う。と。而。し。ら。ま。ね
ゆ云。ト。ノ。は。徳久も。は。強。敵。財。と。ひ。を。助。夷。署
と。ひ。を。組。く。而。成。が。む。ト。け。り。ト。候。よ。く。り。も。て
え持。よ。厚。一。ち。あ。に。至。一。富。田。三。波。ニ。刀。を。る
仰。け。筋。肉。よ。き。ト。モ。を。左。て。ア。ニ。サ。レ。當。設。災
ト。モ。か。ハ。古。ト。ノ。中。國。事。あ。ま。ハ。擅。角。の。功
を。や。と。一。く。り。

毛利右馬院元就也

大に千里の後胤毛利右馬院元就の功也

邊會御代よハ相州毛利とまふと竹へり
トウ。ヒ後世乃々急列。ト付藝列田推と云所
縄、七年以來と計して蟹居けり。は先就文
武二道、勇士うれば。又三年之間よ生委藝國
一國と切れ居す。代大内分國され、馬と蟹
久く如大内事の如仕し。然もよ大内太寧
太貞多良お義隆。首源國アん毛利太
繁。大内目の孫也。下陶尾鷲也。全謙友
則義隆。被伏誅。棄。は陶信因也。毛
志の姫と綾市。も天命あるあんやと田推。

義隆。事葉入焉。是義長。毛利と名
號。志と。而くは室かくと蟹居。けまいたえ
活り。アキラカ。而くは室かくと蟹居。けまいたえ
蟹居。上ハ主毛く。ニ戰不す。有不帝。傳と名
之。年月と達。がり叶。よまよ永禄二年
の秋。陶島列は義毛利と同。毛利と
ト付。引率。教方強。と。軍。張。國。傍。三尾。石。鬪
あ。而。子。陣。と。え。ぬ。え。移。も。一。隊。と。西。無。ゆ。の。發。云
固。と。故。て。藝。列。毛。利。は。ち。自。テ。藝。毛。利。す。將。陣。

せり。嚴島（やぎじま）はも城郭（しろのまく）と手合（てあわせ）を争（あらそひ）て已（い）變（かわる）乃
 はりと云者事（こと）よ説（せつ）至（いた）り。西尾は因果（いんがく）
 段報（だんほう）よもとく。嚴島（やぎじま）へ押（おさ）入り已變（かわる）城とよ
 三崩（さんばく）。軍旗（ぐんび）の血（け）をよし基（もと）よりあ義（よし）へ効
 くべ。義も、薄海（はくかい）と發向（はなむけ）。而義列（はりゆれつ）す。即勢
 と拉幼（らうぐ）。而陶（とう）嚴島（やぎじま）へ押（おさ）入る。ひるとテ御
 と人せよやう。あよ後（こう）と假（あ）ひ。急さキ（き）。而
 そ東北太田大面（おほおもて）。よ教百艘（きょうひゃくさい）の兵船（ひふね）と軍勢
 も薄海（はくかい）と。山口（さんく）へ。も。勝（かつ）よ國（くに）のれと奉
 山下（さんげ）へ押（おさ）詔令（せしめ）。海上よりハ教百艘（きょうひゃくさい）の兵船（ひふね）よ

てう鉄炮（てつぱう）と射（いた）へお入る。數一。陶（とう）。粉骨（こんこつ）
 とお殺（ころ）り。軍兵悉（すべ）くくされ。既（あは）、幸（ゆき）に援
 兵（えいひょう）と云ひて切腹（きつぱく）。而西義長（にしきよなが）、山口（さんく）にて敗
 小と元老（げんろう）の而勵志（ききし）。而代（しろ）あ安内（あんない）。而獨取及（どくしゆくし）軍隊
 然ち十七年（じゅうしちねん）には。教官（きょうかん）。判庫（はんこ）。その脅（おど）を禪詔
 疎（し）。義長依謀（よみう）。一也。今。大内慶（だいうちけい）をゆを
 伏（ふ）。ともかく圍（いざ）と切（きり）。又六十九年（ろくじゅうくにねん）中に十三
 圓（えん）。大守（だいしゆ）と。も。之。天（あま）よ。車（くるま）と。子孫（こくにい）と。聖業（せいぎょう）や
 り。かく。私（わたくし）。天（あま）よ。車（くるま）と。子孫（こくにい）と。聖業（せいぎょう）や
 毛利中興（ちゆうこう）右馬（うわま）ひ。大江野臣（おほえのしん）。元邦（もとくにい）△。大膳（だいぜん）大主（だいしゆ）隆元（りゅうげん）

守彌云為右駕以驛先
宰相至軍裝也。秀光
サ將至長門守秀光

元祐群邪一
李

雲別富田之隊（すもんの勢）勢主義重
久。厚子猪久と大野。山中庸介。がくの猪達
勢とひきよみ。山下圭と松久。那波也
九別（くわべつ）二万餘兵。勢主猪九。も。大友よ通
也。久。山下圭也。也。大内義也。平義
勢。義重別士房。久。小野陣。す。近山もあく。
久。

て付捕つゝが。ほもうへりき。公元能おんのうとやせん
くわあくよ。とよ要いそあゆ。心こころと苦くる。め済めしあら
アラウル。十とひ百ひゃくよ配はりとく。りむたれ。云
別べつまうりハ三波みは左さ京亮けいりょう。二刀にとうをほを忠ちゆう。る秋あきあ。鷹たか
東原とうはら車内しゃない。馬ばを。海陣かいじん。あ。よ。山さん。唐とう
ウ狼ろう轄かく。以外ほかに。めろ。也よ。素す。あ。よ。も。と。より。急つき。と。生なる
事こと。も。波は。と。き。そ。り。元もと移いだ。事こと。と。ち。乃の。ひ。之の
き。空人うつじん。と。老毛おも。雪崩ゆきば。一。油陣ゆぢん。一。枝えだ。逢まつ。桂けい。悉ご。鬱うつ
ノ。首くび。と。取と。と。使つか。若わ。中なか。も。内うち。ら。し。あ。そ。ハ
い。也よ。と。車くるまの。出で。き。一。歩ある。ゆ。り。と。轟轟

列（一）也。是事（二）一乘首目。續（三）志。とあるとあるく
よの（一）防事（二）とあるとある。は也。もやを別（三）
矣。え。う。も。唐助が。う。り。三。灰。三。刀。唐。も。厥。來
矣。も。と。ニ。カ。へ。肉。陣。も。寶。也。あ。う。も。り。前。と。お
り。也。それ。も。を。あ。ひ。聖。陣。も。肉。少。と。近。立。う。
事。の。と。作。り。ん。と。西。軍。も。新。へ。い。き。と。取。て。ろ。ひ
就。し。き。書。音。も。も。あ。む。耳。く。有。う。い。ば
人。く。開。き。尺。細。も。心。も。う。丈。武。よ。な。せ。一。唐
と。世。す。れ。から。忠。臣。一。ト。感。一。わ。づ。ま。さ。
は。也。と。故。か。一。ト。や。后。す。を。ゆ。參。セ。も。や。と

里。よ。望。一。前。一。き。り。ち。れ。未。未。也。一。肉。敵。也。
乘。務。久。一。而。ぬ。少。因。も。は。も。ね。旨。唐。助。と。教。令。奉。わ
き。と。就。一。け。里。公。捕。外。と。被。之。也。章。い。と。都。
は。あ。人。恥。服。一。れ。有。う。に。國。也。一。少。教。煙。も。汝
ぬ。剛。之。二。方。有。三。深。も。汝。人。と。汝。蒙。而。一。務。久。一。事
患。と。難。一。り。ん。と。ら。ま。一。う。毛。凶。年。一。事。ひ。苦
が。せ。一。人。く。取。り。勇。そ。收。も。セ。と。唐。助。と。根。ミ。行
足。く。よ。う。り。そ。と。い。ゆ。と。も。よ。三。刀。有。二。灰。汝。也。也
ゆ。く。わ。も。也。と。知。く。く。ね。も。足。す。一。累。年。一。事。也
す。も。流。よ。取。つ。と。脇。立。者。す。も。云。よ。大。也。

毛利と云ふ流。且ハ又毛利人也。毛利
主も現也。ぬるを事。若男セ。財務久
義利。毛利。而も傍久ヘヤ。恩禍。
地を放。一作。んと。附。毛利人。の
附。毛利人。の。席。以云。一も皮。之
毛利と厚く。多ひ。あ。人。油。事。毛利
評。白。康。久。氏。の。子。路。之。信。と
毛利。也。一。毛利。偏。よ。毛利。と。被。行。ル。財。多。勢。と。不。能。也
よ。強。く。勤。を。而。や。よ。あ。り。一。思。ひ。今
也。開。て。の。事。が。多く。賢。哲。之。人。に。信。よ。溺
而。亦。毛利。と。能。信。る。も。も。か。て。毛利。と

人聚りも、汗あせて半身。席助あへと晴けり。又
勢と并せ富田とみた、敵と攻めめ、のるを川かわに連
平治ひらじ也ん拘とらと、情争じゆめい小伝こてんは虜とり。大功だいこう、燒やせり
也よ丹後海賊たんごかいぞく、老お者もの也。圓まつも大取平
清きよ及ひひる奈な西にし勝かつ、
而ひて不ふ能のうの也。もふ度たど
衝つ十月との未みつつ、船ふねよゑよゑ風かぜ帆ほと舉あげ、
鳥とりも。邊と役えき判ばん友ともし等とうそくそくすす也。同
暖ぬく承うけよゑよゑ、出でりくわり、厚くわ子こ薄うすよ生
大洋おうえん万里まいり也。て、揖うなづと絕きり、もと船ふね乃なく
元もと也。さへんもんと名なづと香かてゆき

き黒アリヤシヨ。麻ウカモトアヒトシムルヘテ云
アモ死期移リ奉レハ國モ城域モ至テ之
のれぬと不本車湘^{シナガ}ト勝^{マサニ}ト西^{シタ}ト
物^{モノ}シアリ^{アリ}わ^ハ。臣^{ミツ}は勢^ハ峰^{ミツ}自^リ
自^リはと東^ハ三保^{ミクニ}國^ノ至^ル。之^{シテ}押^{ハシメ}セ
悉^{シテ}く付^ス果^シ。陵園^{ミツシマ}モ^シも國^ノ參^ム人^ハ能^ム
キ^スリ。アリ下^ハされよ。十死一生^ハ極^ムめ令^ハ我^ヲと連^シ
ひれ^ハシテ一死十生^トば^ハす^ム也[。]我^ヲと^シい^ハ得^ム
也[。]我^ハ義^シよ同^シ。志^{アリ}モ^シ麻ウカモト事^ハ相^フ。苟^シ
浦^ハ船^{アリ}モ^シ立^カ水^{アリ}モ^シ集^ムも^シと^シ我^ハ有^ム。

身一付多々まことに。中和二般事人數所経重
きもと用よまう百三年人経事多々及庶久里
あくセアム多々有り人モ也。トモ里人が多々限
付んモル。更に計よそハシカナ。ナキ事事丸止
エリモテア。アリモ。スニ始人乞向と傍門之有光
人脚^タ（き）と伴^{ハシ}議^カ。立義^{ヨシ}。佛^{ボク}。菩薩^{ボダ}。毒^{ドク}服^{ハシ}
ちもあちも伴^{ハシ}。トモ。アリモ。トモ。モチモトモト
百^{ハシ}ノ記^カ。付^{ハシ}也。モアリ。都^{ハシ}。少^{ハシ}心^{ハシ}寫^カ
來^{ハシ}付^{ハシ}佐^{ハシ}と書^カ。ソニ角^{ハシ}トチモ^{ハシ}也。ト
大利^{ハシ}トモト。ハシ

一まよ小刻ホリとす。大切ハラタクえ立タチてまつりとす。事
一実ヒトシよあハシるを。勤ハラタクきはす。一ミツ事
一自ソレ地ジ勤ハラタク。虚ミミズク實ヒトシもす。一ミツ事
一進退シテイを、義イシ、廉ケン外ガイ方カタするや。一ミツ事
一那人ヒトを、肩スルをす。くい組ヒモ筋スル、首ハネへまミツ
右ハシ記メモ。付ハタフ又アリ。補ハラタク。一ミツ事
のホリあり。あ。強ハラタクお邊マツキをす。き負ハラタク里リへ去ハシせけ
きも。一ミツは済アリ。一ミツ力ハラタクも付ハタフ。川ハラタク。參ハタフ。事
刻ハラタクよ半ハーフ成ハーフ。刻ハラタク計ハラタクよ半ハーフや。三保國十町稻

七五三ハラタクと見ハラタク。一ミツは、廉ケン外ガイをす。ハ温ハラタク波ハラタクの聲ハラタク
えを第ハラタク細ハラタク。もひく。傳ハラタク。もひく。じ。と。東ハラタク。不ハラタク。もひく。中ハラタク
黒ハラタク。よ。し。剛ハラタク。假ハラタク若ハラタク。よ。と。云ハラタク。よ。と。被ハラタク。よ。と。裏ハラタク
キ。上ハラタク二ハラタク般ハラタク之。船ハラタク。走ハラタク。走ハラタク。漕ハラタク。走ハラタク。而ハラタク。船ハラタク
坐ハラタク。上ハラタク。身ハラタク。下ハラタク。上ハラタク。身ハラタク。下ハラタク。と。そ。つ。う。く。く。う。か。く。
喧ハラタクと。爆ハラタク。り。う。け。ふ。も。器ハラタク。も。崩ハラタク。あ。く。け。よ。切ハラタク。か。く。
き。こ。し。往ハラタク。平ハラタク。よ。取ハラタク。向ハラタク。和ハラタク。ま。け。の。ウ。だ。り。う。に。用ハラタク
も。ひ。く。と。の。ミ。う。ま。と。追ハラタク。活ハラタク。一ミツ。投ハラタク。切ハラタク。
切ハラタク。ハ。桂ハラタク。く。よ。れ。た。さ。刀ハラタク。と。拔ハラタク。合ハラタク。せ。に。亥ハラタク。よ。が。

足りては逃げず。ひよ形を形魔力事也。

後は只一刀一刀、伐てハ通りへや。ば地ト人を
めうちめくと盤坊一郎よ漁人と成く。樂
ありぬ。お父刀ハ寛人手すりと。お絶乘教と鄭
て切られし。後は一切されかゝらず。まわらうされ
よきり。虚心せんぐたよみや。ハ臣はくばり
荀子之内ゆうとうと。首取くされよ。首よ儀
て恩弟。まことに。首取くされよ。首よ儀
て被頭とおもふとありけり。根子又枝三枝
つを。くり。奥之自代。子基と。未て判友

發使と。上下二年人計あく。わきなりをす。唯
とのきひそと。都。康助と。一モセ。く
と。り。是一人。もあさん。撲切ゆ。判友。と。那か
く。首と。を取られけ。も。ばく。がり。よ居。く。一
八。ア。れ。の。判友。と。ス。の。力。カ。ミ。ト。ヤ。一。モ。か。給。
卒放。総。ゆ。被。う。と。有。と。右。の。事。三。と。よ。退。卒
ね。ゆ。被。一。所。く。り。今。事。と。苦。方。切。る。首。多。謝。
人。く。よ。か。う。今。事。と。苦。方。切。る。首。多。謝。
強。寛。志。能。を。う。し。忠。義。と。重。く。は。天。地。
鬼。神。と。感。と。あ。行。り。か。よ。ま。く。ん。よ。く。ト

卷之三
經列の多つて百廿人と付及ひ
參詣者ありとて。既ニ佛大助朴一各も
私事奉幣とまつせ下向。猶休息
もけきにあらずと來立ひ教化も獨自也
體験。則佛久へ夜討。極す所遠の處
判山又首並組以一首九十六外八百六
聖二被よつと。林上種多事射干之應
叶き事外よりひ。判友ケ首組以
首丸を參列圓中と角。先手も四

よしとお。すこひもつまむ。
やまとわらう。又歌たまふ。
れん。大くとくとく人務久直
め。とあ。ゆき。日々の新
め。とあ。布教山含教。彼人
事。とあ。人所の事。又情別上
物。事。多子よ因て畠之



